

平成 16 年度「雑木林塾」塾生募集!!

雑木林塾は、下草刈や萌芽更新等の維持管理技術を学びながら、現代における住宅街の中にある雑木林の意義や新たな関わりを考え、主に市が管理する公園や保全地区の雑木林を対象として学んだ技術や知識を役立て、緑豊かな調布市を作っていきたいと考えています。

今年度の雑木林塾予定

開講式（9月25日（土）午前10時～市役所4階第4会議室）を行い、10月から3月までに1回講座を行う予定です。内容は雑木林の保全管理に必要な情報を知るための座学や、樹林での保全管理作業を実際に体験する予定です。

申し込み方法

申込み・問合せ：調布市環境保全課
(TEL:0424-81-7086)

申込締切：9月17日（金）

定員：30名

企画運営：雑木林塾運営会議

連携：ちょうふ環境市民懇談会

日程等詳細はお申込みいただいた方に追ってご連絡いたします。



昨年の講座風景

調布の自然 生き物編 その6

河原の小さな陶芸家 トックリバチ

7月はじめの多摩川、梅雨明けを思わせる日差しの下でキリギリスが鳴き、満開のカワラサイコが堤防の法面を黄色く染めていた。可憐な黄色い花には、ギンイチモンジセセリやハラナガツチバチなどに混じって、トックリバチが蜜を吸いに来ていた。腹部に一对の黄色い斑紋があり足も黄色。この特徴は、キボシトックリバチとキアシトックリバチに共通のものだ。市の環境白書の生物リストにはキボシトックリバチの名前しか載っていないが、この写真は背中中の斑紋から判断するとキアシトックリバチのようだ。正確には、採集して顔の形や腹部の毛の様子などを見なければ判断できない。自然史の資料として証拠となる標本がないと、確実なことが言えないのだ。

傍らのメドハギの根際に、直径2センチほどの灰色をした壺を見つけた。トックリバチの巣だ。トックリバチは子供のために土で壺を造り、天井から卵を吊り下げる。それから子供の餌としてガの幼虫10数匹を貯えて壺の口を塞いでしまう。夏に造られた壺から生まれたハチが、また秋の河原のどこかで壺を造っていることだろう。



ヨモギについていたトックリバチの巣



カワラサイコに来たトックリバチ

夏の雑木林 “かに山” ディキャンプ

こどもエコクラブ

真夏日続きの8月7日、調布の街中よりはちょっと涼しい深大寺自然広場・かに山でディキャンプを行った。

まず自然広場で小池講師の説明を受けながらキツネノカミソリ・ヤブミョウガの花、穴のあいたサクラの葉、実のついたエゴノキ・ミズキ・エノキ・ムクノキ、実と花芽のついたコブシなどを見て回った。樹木と虫との関りの観察で、子ども達の意表をついた答えに納得させられることも。

広場を一周していざかに山へ。初めに何段かの地層を見てから、子ども達は地表に出ている太い木の根を手がかりに、四つん這いになって急な斜面を登り、キャンプ場へ。親子が別々になるよう班作りをし、さっそく焚付け用の枝拾い、炊飯・カレーの準備もOK。いよいよ火熾しのイベント。あれこれ指導を受けて薪のくべ方を工夫しているうちに、各かまどに炎が立ちはじめ、待つこと暫し、美味しいカレーライスにありつくことが出来ました。



午後はサポーターの指導で草笛作り、昨夕から仕掛けてあったトラップの虫調べ等と各自楽しく過しました。半日足らずの戸外生活でしたが、楽しい思い出を胸に山を降りました。事前準備と当日お手伝いいただいた方々本当にご苦労様でした。(M)

ちょうふ DE 田んぼ日記 その16

とても悲しいおはなし

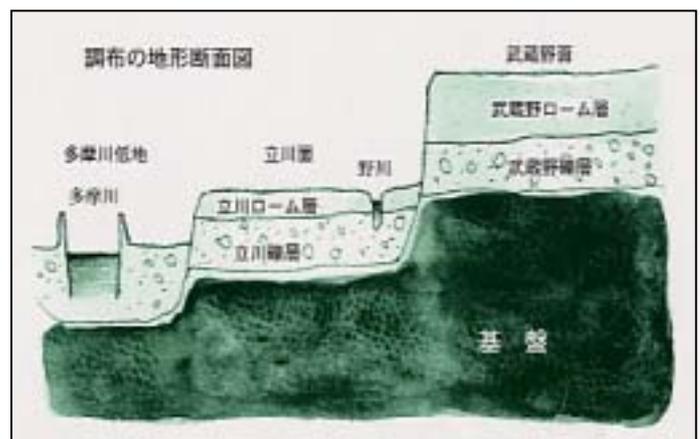
今年は、関東地方では異常な乾燥した夏になりました。野川はからから、神代水生植物園の水路からの水で、かろうじて大橋のあたりから下流に水が見られるような状態です。

農業高校からの谷戸地形を水源とする佐須用水も、ほとんど水がありません。深大寺自然広場の野草園からの水も、そのすぐ下の柏野小学校北側の田んぼにすら行き渡っていない状況です。数ヶ月前から、用水路は途中で干上がり、多くの水生生物が死んでいます。また水が少なくなったため水温が高くなり、死んでしまっている生き物も多く見かけます。

「田んぼの学校」も水稻ではなく「おかぼ」状態。収穫もどのくらい見込めるか分かりません。作柄指数は例年より低くなりそうです。それでも、稲たちはたくましく、先月中頃に出始めた稲穂は、実りを迎えようとしています。

湧水を水源とする佐須用水はもとより、野川も、雨水と湧水に頼って水が流れる特殊な川です。昔は、洪水で氾濫したり、大きな水車を回すことができた。野川も、どんどん水量が減ってきました。

環境を保全するという意味では、上流の武蔵野面周辺にアスファルトなどで覆われていない土地がたくさん在ることがとても大切なことだと思います。将来、気候の変化も予測される中、調布の谷戸田の未来がどうなるか、とても心配です。それでも水のある限り、続けていきたいと思っています。(たんぼの学校 こんどう)



入間・樹林の会

8月22日、残暑厳しいなか、樹林地入り口シンボルツリーのシラカシの枝が夏台風で折れたので、その片付け作業から始まりました。これまでもシラカシの樹液にスズメバチが集まり注意していましたが、枝をカットしている作業中、焚いていた『蚊取り線香』に反応してまとわりつきました。「スズメバチ注意!」のお知らせも必要ではとの意見もでています。



民家に隣接した縁辺地の草刈りは、「アザミ」「ミョウガ」実をつけた「ジュズダマ」を残しました。ジュズダマは1.5mほど伸び、青い実をつけています。秋に熟した実は、児童館との交流事業できっと



ヤブミョウガの実と花

活躍することでしょう。夏休みのせいか参加者9名と少ないため、西側樹林地を含めてのマップづくりと階段の補修作業は次回にし、業者に伐採を依頼する木について協議・決定しました。先月白い花が咲いていたヤブミョウガは青い実をつけていました。すっかり樹林地の花として風格がでてきています。キツネノカミソリは、花の盛りもすぎ実をつけはじめしており、ヤブラン、ヌスビトハギ、ミズヒキソウ、ミョウガ、ハエドクソウが咲いていました。また、久しぶりにアオバヅクやタヌキの姿を見たとの情報もあり多様な生物の共存する樹林地も夢ではないですね。(安部)



ヤブラン



キツネノカミソリ



ヌスビトハギ

環境モニター

8/7(土) 10:00~
多摩川ワンド周辺 &
たづくり305会議室

7月の植物調査の折、名前が不明の物やめずらしいものに関しては「標本にしておくことが一番」とのことで講師の方に標本の作り方を教わった。今日は実際作成してみることになり、ワンド周辺の植物を各自適当に採取。たづくりに移動して、標本づくりを行った。

標本作成用にはさんだものは各自持ち帰って、新聞紙を取り替えながら管理することにし、また次回以降の活動でも継続して標本作りをするようになった。その後今後のモニターの活動について意見交換を行い、データとして標本以外に写真もできるだけ活用することとし、管理の仕方や成果品についても話題が及んだ。次回は9/4にワンド周辺の調査を行う予定。



リレーエッセイ (保全課職員)

本年4月から環境保全課におります田中です。土佐の高知から移り住んで36年余りになりますが、今年の夏ほど暑さを感じた年はなかったように思います。この記録的な暑さが地球温暖化によるものなのかは分かりませんが、少なくとも今まで人間が自然を使い放題、そして破壊してきたことが起因しているような気がします。

先日、市民の方から「野川の水を何とかしてほしい、市に言ってもしょうがないかも知れないが」というメールがありました。野川の濁水の状況を見て、植生物が可哀想でいかんともし難い気持ちが表れたメールで、こちらとしても、相手の気持ちが手に取るように分かるだけに、出来るものなら何とかしたいという気持ちになります。かつては数々の氾濫の歴史がある野川も、上流に住宅が建つにつれ毎年濁水する時期があります。人を豊かな気持ちにさせる水辺の環境の保持は、今を生きる我々の責任であること、そして皆様の地道な活動は持続可能な社会の実現には欠かすことのできないものだと感じています。

イベント情報

環境モニター

日時：9月4日(土) 10:00～
 場所：多摩川市民広場上土手
 内容：ワンド周辺の植物名記録と写真での記録，標本作成用の植物採集
 持ち物：スコップ・軍手・飲み物・ルーペ

人間樹林の会

日時：9月12日(日) 9:30～
 場所：人間地域福祉センター
 内容：西側樹林地のマップ作り，
 階段の補修等
 持ち物：軍手・作業服・飲み物

環境市民懇談会

日時：9月5日(日) 10:00～
 場所：市役所1階駐車場
 内容：掲示板作成作業
 持ち物：軍手ほか

第5回野川水辺の生き物調査

身近な川「野川」で小さな生き物を見つけてみませんか？自分の手で取った生き物を観察します。きっと新しい発見が生まれますよ。



日時：9月26日(日) 10時～12時
 (雨天中止，小雨決行)

集合：調布第7中学校横の野川中島橋
 対象：小学生以上20人(小4以下保護者同伴)
 参加費：1人100円(保険代)
 持ち物：水筒，筆記用具，着替えと川に入るための運動靴(サンダル不可)
 申込み：環境保全課まで(9月6日より受付開始)

ニューズレターのタイトルが変わりました。新しいタイトルは「ちょうふの自然だより」です。どうぞよろしくお願いします。

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。
 問合せ・申込み：(尾辻)

kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみたいなど思っている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

【編集後記】

アテネ・オリンピックの観戦で每晚遅くまで起きていました。夜更かしのため毎日寝不足気味でした。そのかいあって連日のメダルラッシュと、とても感動的な光景を目にできました。色んなハプニングも含めて夢をありがとう！今日から現実です(A)

<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
9月2日(木) 18:30~20:30	たづくり 305 会議室	環境市民懇談会 運営委員会
9月11日(土) 10:00~12:00	たづくり 1101 会議室	雑木林塾打合せ
9月16日(木) 18:30~20:30	たづくり 303 会議室	環境市民懇談会 連絡会議
9月27日(月) 13:30~	市役所3階 環境部会議室	ちょうふの自然 だより企画編集

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課
 TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会